

令和元年度 中央区立明正幼稚園 自己評価報告書

中央区立明正幼稚園 所在地：東京都中央区新川2-13-4

園長： 佐藤 興二

幼児数 98名 学級数 6 教員数 9名 職員数 4名 主事1名

教育目標

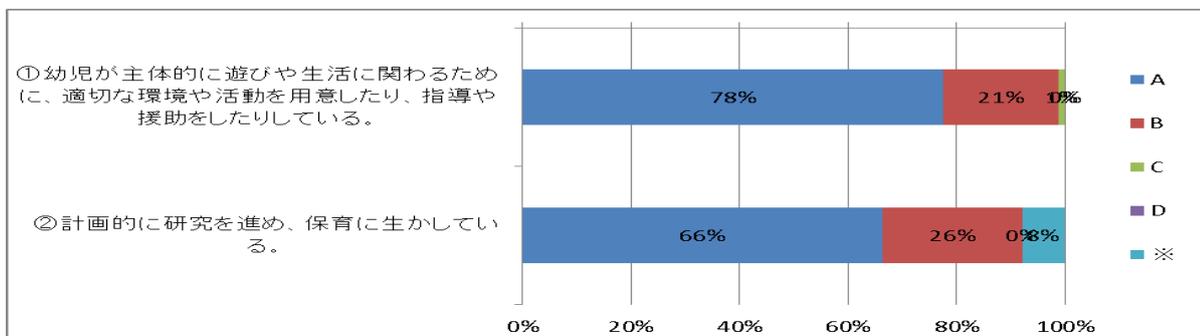
- あかるく元気な子 — 心身ともに健康で、いきいきと遊ぶ子ども —
- よく考える子 — 自分で考え、進んで行動する子ども —
- なかよく遊ぶ子 — 思いやりがあり、感情豊かな子ども —

1 重点目標の達成状況及び取組状況

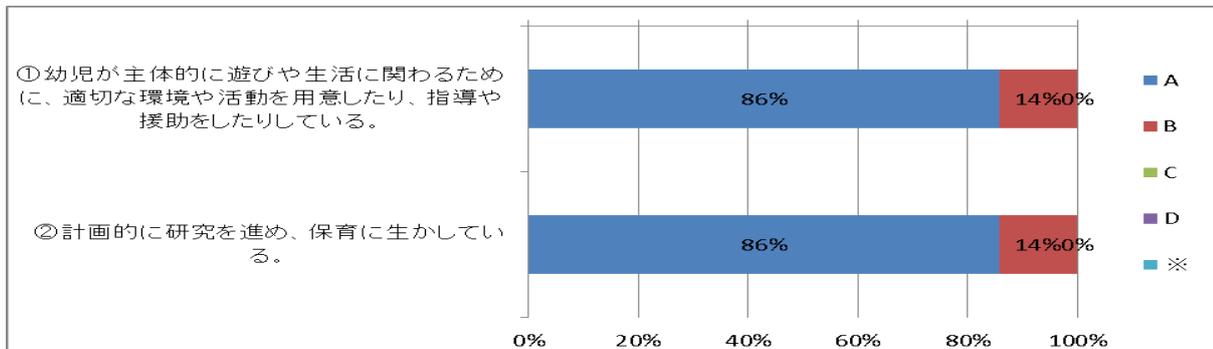
A：十分達成している B：達成している C：改善を要する D：緊急に改善を要する
※分からない

重点目標1 生きる力の基礎を育む教育活動

<保護者の評価>



<教員の評価>

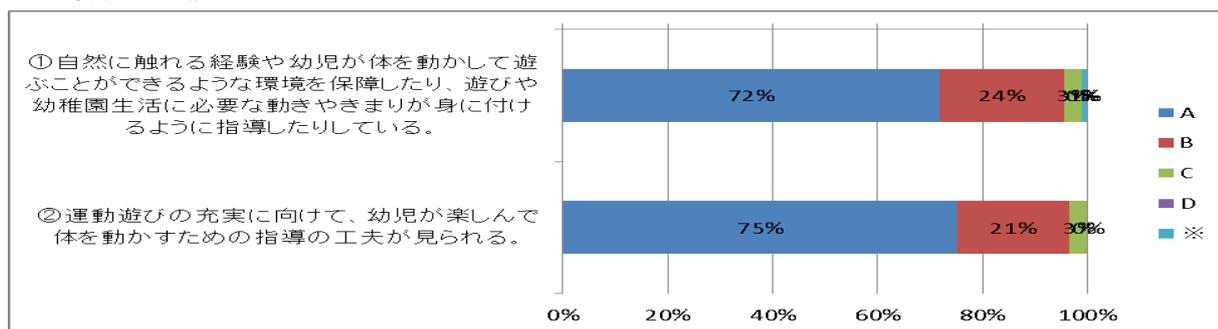


重点目標1については、教員、保護者、外部評価委員ともに、概ね肯定的評価を得た。

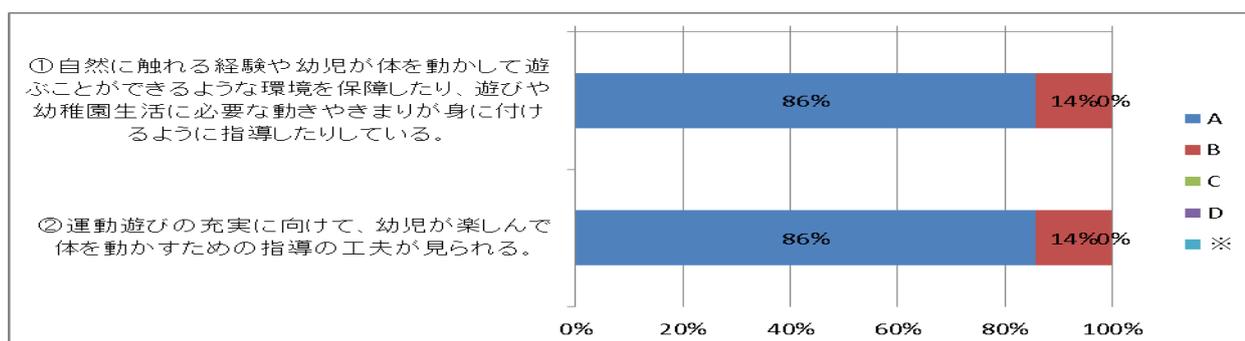
ただし、評価項目②については、8%の保護者から「分からない」の回答であった。教員自身は園内研究について計画的に取り組み、それを実践に生かしたり、指導の資質向上につなげたりしているが、保護者に研究の内容や具体的取り組み、成果を十分に伝えることができなかったと考えられる。次年度以降、教育活動に加えて教員の研究への取り組みについても、保護者会や学級懇談会等で触れて周知を図る。

重点目標 2 身の周りのことに対する見方や考え方を身に付けさせる教育活動

<保護者の評価>



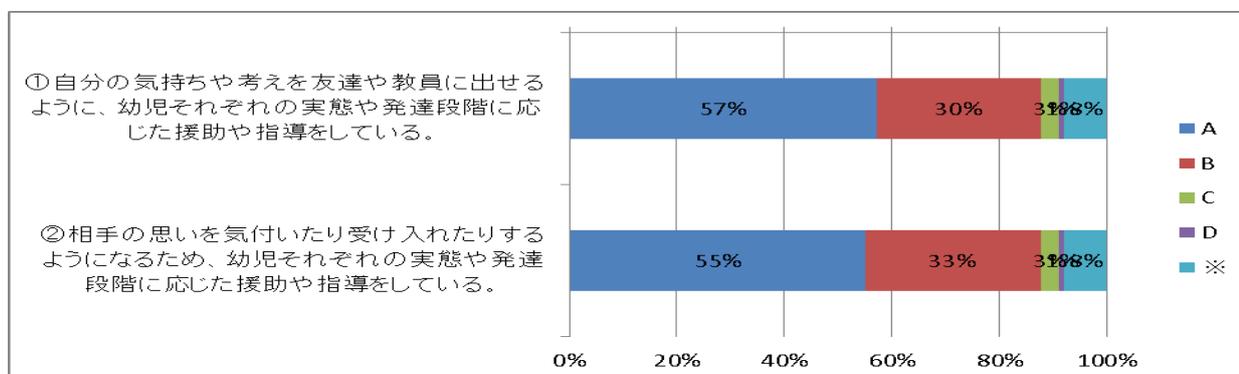
<教員の評価>



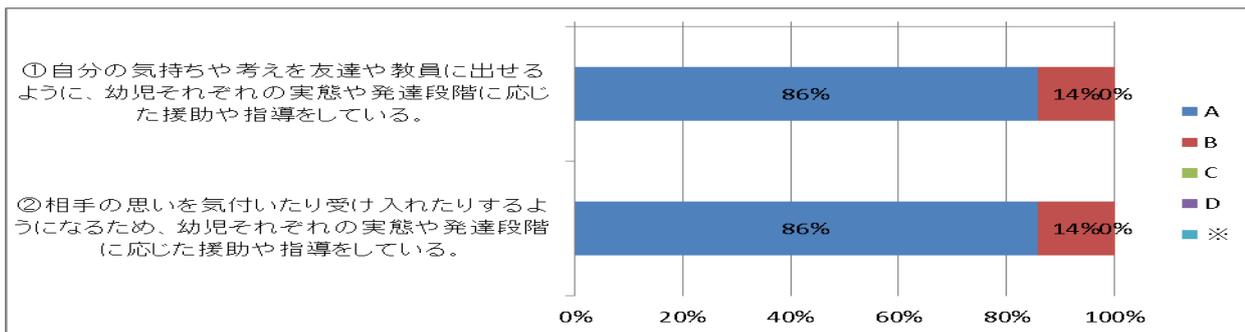
園内研究において、主体的に体を動かす幼児の育成を目指して取り組んできたため、教員の評価は、A・B合わせて肯定的評価が100%となった。一方、保護者の評価では各評価項目とも3%のC評価者がいた。重点目標1と重複するが、次年度以降、教育活動に加えて教員の研究への取り組みについても、保護者会や学級懇談会等で触れて周知し、保護者の理解を図りたい。また、保護者が考える自然に触れる経験や体を動かす遊び等について聞き取り、教員の考える内容との相違を把握したり、幼児期にふさわしい経験について周知を図ったりする。

重点目標 3 自他ともに大切にすることを育む教育活動

<保護者の評価>



<教員の評価>



教員の評価は、A・B合わせて肯定的評価が100%となった一方で、保護者の評価において、マイナス評価や分からないを選択する割合が他の項目と比べて高かった。教員は、各学年に応じた発達や幼児期の発達の見通しについて理解しているが、保護者には評価項目の「発達段階に応じた」の捉えが難しかったのではないかと考える。「発達段階に応じた」という評価項目を設定するならば、事前にこれについて伝える必要がある。次年度、評価項目の文言についても十分に精査していく。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

重点目標以外については、保護者アンケートにおいて全ての項目で85%以上の肯定的評価を得ることができ、達成状況は概ね良好と考えられる。今後も、指導の充実と保護者との信頼関係の構築を目指していく。

自由記述の中で、幼稚園での日常的な幼児の姿を知りたいという意見が複数あった。今年度の幼稚園公開では、食育の指導や幼児が英語に親しむ様子を公開する内容であったが、幼稚園の教育活動を広く発信するために、公開内容の見直しを図っていく。

3 今後の改善方策

- ・幼稚園の教育活動や園内研究の取り組みについて保護者や地域に理解してもらえるように、ホームページの更新頻度を増やす。また、幼稚園公開の内容と回数について見直し、来年度の教育課程に反映させる。
- ・評価結果や学校評議員会、行事後のアンケートなどから保護者や地域の幼稚園への願いや期待を把握し、全教職員が共通理解を図り、改善に努める。

* 3月に各学校のホームページで公表していきます。